

再使用禁止

コバス® PCR スwab検体採取セット III

v2

【禁忌・禁止】 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1セット中※

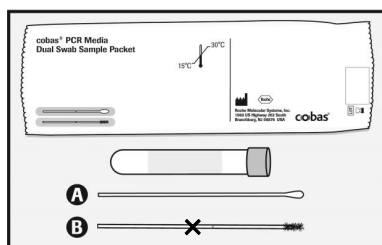
1. スwabパック

ドライスワブ:1本、フロックスワブ:1本
(ポリスチレンの柄にポリエステル綿球のついた綿棒)
下図を参照してください。

2. コバス PCR メディア 1×4.3 mL

塩酸グアニジン (40%以下)
トリス塩酸緩衝液

※ 本品は100セット入りです。



A ドライスワブ

B フロックスワブ

注)フロックスワブは使用しないでください。

【使用目的又は効果】

検査のための試料を採取することを目的とした器具

【使用方法等】

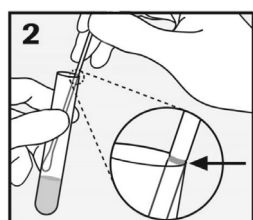
鼻腔拭い液検体(スワブ検体)の採取方法



検体を採取するために、スワブパック内のドライスワブを鼻腔に1~2cm挿入し、約3秒間鼻粘膜に対してドライスワブを回転させ、引き出し検体を採取します。



同じドライスワブを使用して、もう一方の鼻腔からも同様の操作を実施し、検体を採取します。
採取の際にドライスワブのスコアラインに手を添えて操作してください。
また、ポリエステル綿球に触れないでください。

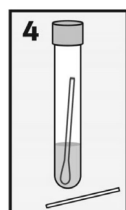


コバス PCR メディアのキャップを開けます。
スワブの先端が、コバス PCR メディアの溶液に漬からないように注意しながら、検体を採取したドライスワブを入れます。ドライスワブの柄に付けられた線を容器の縁に合わせます。



コバス PCR メディアの容器の縁を利用して、ドライスワブの柄に付けられた線で折ります。

注意: 手元に残った折られた柄は廃棄してください。



コバス PCR メディアのキャップをしっかりと閉めます。
これで検体の保管又は輸送の準備ができました。

3. 検体の安定性

検体を保存した「コバス PCR メディア」は、2~8℃で48時間安定

*【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) スwabによる検体採取は、医師又は検体採取の資格を得ている医療従事者が実施してください。もしくは自己採取する場合には、医師の指導のもと実施してください。
- (2) 血液が大量に混入している検体では、偽陰性又は判定無効となる可能性がありますので注意してください。
- (3) 本品は滅菌済みですので、包装に破れ及びピンホールがあった場合には使用しないでください。
- (4) 本品のセット内にはドライスワブとフロックスワブが同梱されています。検体採取には、必ずドライスワブを使用してください。フロックスワブは使用しないため、破棄してください。
- (5) コバス PCR メディアは、塩酸グアニジンを含みます。誤って皮膚、目及び粘膜に付着した場合には、直ちに大量の水で洗い流してください。必要があれば医師の手当などを受けてください。
- (6) コバス PCR メディアに含まれる塩酸グアニジンは、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)などに触れないようにしてください。有毒ガスが発生します。
- (7) コバス PCR メディアの溶液をこぼした場合には、すぐに水で希釈してから拭き取ってください。
- (8) コバス PCR メディアの溶液をつけたスワブは、絶対に検体採取に使わないでください。
- (9) 本品は必ず貯蔵方法に従って保存し、指定の条件以外で保存したものや使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

2. その他の注意

- (1) 感染を防ぐため、検体の採取及び取り扱いには必ず感染防止用保護手袋や、フェイスシールド、保護眼鏡、保護衣などを着用してください。検体採取終了後は手をよく洗ってください。
- (2) 検体が身体に付着した場合には、洗浄と消毒を実施し、必要であれば医師の手当などを受けてください。
- (3) 使用済みコバス PCR メディア、又は未使用のコバス PCR メディアの廃棄に際しては、廃液及び廃棄物の関連法令に従って適切な処理を行ってください。
- (4) 検体採取済みのコバス PCR メディアの輸送に際しては、関連法令に従って適切な処理を行ってください。



【保管方法及び有効期間等】

1.保管方法

15～30℃で保存してください。

2. 有効期間

24ヵ月

使用期限(Exp.)は外箱及び個包装に記載してあります。

[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

連絡先: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

カスタマーソリューションセンター

TEL:0120-600-152



ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社